



自分の未来を考えてみよう！

学年末考査も終わりました。精一杯取り組むことができましたか。納得できる結果を求めて、来年度は、より学習を充実させていきましょう。もうすぐ3月になります。令和3年度ももうすぐで終わります。残された大きな行事は、卒業式や高校入試、クラスマッチ等がありますね。

皆さんにとって、少し時間的に余裕のある時期ではないですか。そこで、少し自分自身について考えていく時間を作りませんか。そこで、皆さんに質問です。

「皆さんは、5年後、10年後をどのように過ごしていきたいですか。」

「どんな仕事をしている自分になりたいですか。」

「自分らしく生きるために、将来設計をしてみませんか。」

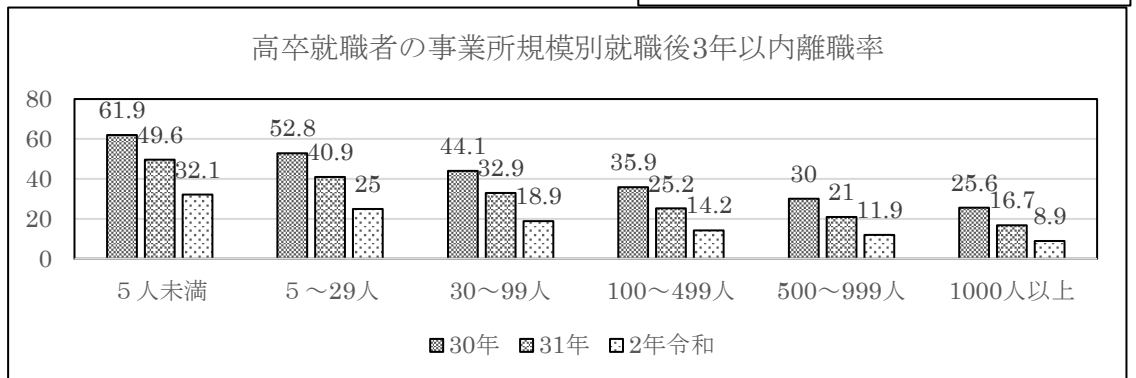
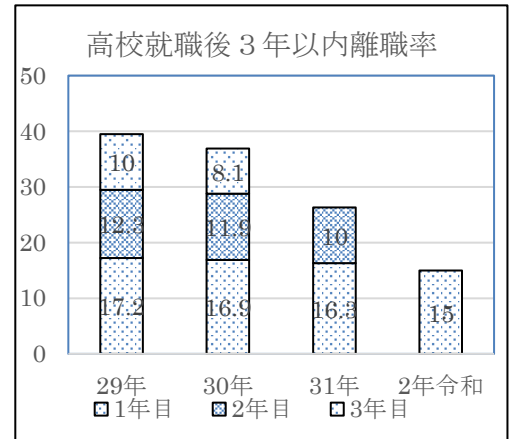
自分がどんな仕事をしていきたいか、しっかりと考えてみましょう。皆さんの周りにいる多くの人が、皆さんを応援しています。保護者の方や友人、先生達は皆さんの応援団です。でも、**働くのは皆さん一人一人です。**これから働く仕事を見つけられるチャンスがあるのに、選ばなくて本当に大丈夫ですか。3年生の1学期中に決めるのは当然で、遅くても夏休みになると思いますが、2年生は3月を有効に使いませんか。1年生は、どんな仕事があるだろうと考えてみる機会にしませんか。

早期離職するとは！？

早期退職（特に3年以内に会社をやめた場合）は、思わぬデメリットが生じることがあります。

再就職の際に、根気や責任感、協調性などがないと思われる。再就職しても成功するとは限らない。

離職して次の職場を探す際、履歴書に前職と勤務年数を記載しますが、その年数には大きな意味があります。例えば、5年以上務めた人の場合は、面接官は仕事をする中で、それなりの考えがあって退職したのだろうと退職理由を聞きます。ところが、早期退職の場合、面接官は「仕事に対して根気や責任感がなく、協調性が欠けており、採用してもすぐ辞めるのでは？」という疑いを持って質問してきます。早期離職をした履歴書はすでにマイナスイメージがついてしまいます。再就職も簡単ではなく、就職しても自分に良い職場であるとは限りません。やめたことを後悔する可能性もあります。



(資料)厚生労働省 新規学卒就職者の離職状況 令和3年10月22日より

自分の希望とする求人票を見つけよう！

新卒者は大変貴重で、期待される存在です。事業所の中には新卒者のみを採用し、既卒者（学校を卒業してから受ける者）は採用しないと、求人票に記載されています。その事業所は進学しない限り、2度と受験（受ける）チャンスはなく、2次募集や追加募集等がないと受験できません。3月末までに、気に入った求人票を見つけ、事業所について調べてみましょう。求人票を見ながら、保護者の方と未来について話してみませんか。皆さんにとって、良い進路選択ができることを願っています。

第4号解答 言語分野 ①単純 ②販売 ③荷物 非言語分野 ①90g ②910円 ③18秒 一般教養 ①行く いらっしゃる うかがう 話す おっしゃる 申し上げる 見る ご覧になる 拝見する ②9×1+8+2=19 9÷1+8+2=19 9+1×8+2=19)

将来の設計図をえがこう

種子島高校進路指導部

氏名 _____

物語

